

電通総研、AWS への移行を総合的に支援する

「AWS IT トランスフォーメーションパッケージ for MCP 電通総研版」の提供開始

－ エンタープライズ企業向けに IT 基盤の安心・安全なクラウド移行とさらなる利活用を支援 －

テクノロジーで企業と社会の進化を実現する株式会社電通総研(本社:東京都港区、代表取締役社長:岩本 浩久、以下「電通総研」)は、2025 年 6 月 24 日(火)より、エンタープライズ企業向けに IT 基盤のアマゾン ウェブ サービス(以下「AWS」)への移行を評価、準備、実装、運用まで一気通貫で支援する「AWS IT トランスフォーメーションパッケージ for MCP 電通総研版」の提供を開始します。

今般提供する「AWS IT トランスフォーメーションパッケージ for MCP 電通総研版」は、当社がこれまでに培ってきた基幹システムをはじめとした大規模なクラウド移行や、製造業のエンジニアリング業務を支援するハイパフォーマンスコンピューティング(HPC)のクラウド利活用のノウハウに、AWS が提供する Well-Architected フレームワーク^{※1}を活用したベストプラクティスを掛け合わせて提供するサービスです。

IT 基盤の AWS 移行はもとより、AWS を活用・運用するための体制整備、AI を活用したシステム構築・運用における QCD^{※2} 向上など、クラウド環境を運用していく上での組織とシステム双方のモダナイゼーションの実現を支援します。

電通総研提供 ソリューション		AWS提供 ソリューション			
検討	評価	準備	実装/移行	運用/最適化	
企画・移行検討・コンサル		要件定義・仕様検討・設計		構築・移行	運用・保守
戦略策定支援	アセスメント (現状分析・評価)	クラウド組織推進	ガイドライン整備	移行PM/マネジメント	運用サービス
グラウンドデザイン 策定支援	アーキテクチャ 検討支援	構築SIサービス (アカウント設計、サーバ構築、DBマイグレ、IaC、NW、セキュリティ)			コスト最適化支援
アドバイザリーコンサルティング (組織、統制、モダナイズ、クラウド利活用、他)		プロトタイピング	運用設計 (監視オペザバビリティ・オペレーション自動化)		継続的改善
HPC/CAE PoC支援 (パフォーマンス測定、コスト試算)		HPC/CAE ITサービスメニュー化支援		HPC/CAE 構築/パフォーマンスチューニング	
クラウドエコノミクス (TCO/CO2削減評価)	マイグレーション レディネスアセスメント	AWS Migration Acceleration Program for Migration Competency Program Partner (MAP) (移行支援ファンドプログラム)			
アプリケーション ポートフォリオ アセスメント	スキルギャップ分析	移行ワークショップ (サーバ/データベース移行支援など)		AWS IT Divest (お客様IT資産の買取)	
クラウド人材育成支援 /CCoE運営・内製化支援					
Amazon Q などAIによる基盤構築・運用効率化検討					

■背景

電通総研は 2010 年に AWS パートナーネットワーク(APN)に参画して以来、製造業や金融機関をはじめとする多くの業種向けに AWS 環境の構築を支援し、自社ソリューションにおいても AWS 上での PaaS/IaaS 型のサービスを提供するなど数多くの AWS 関連プロジェクトを手がけてきました。近年は、2024 年に「Japan AWS All Certifications Engineers」を複数名輩出、2024 年 11 月には「AWS スマートシティコンピテンシー(現:政府機関コンピテンシー)」、2025 年 6 月には「移行とモダナイゼーションコンピテンシー」の認定を取得するなど、積極的に AWS を活用したシステムの導入を推進しています。



■「AWS IT トランスフォーメーションパッケージ for MCP 電通総研版」の概要と主な特長

本サービスは AWS への IT 基盤移行を評価・準備・実装・運用まで一貫して支援するサービスです。クラウド構築・運用に関するアドバイザリー、IT 人材の教育支援、クラウド戦略の策定・遂行のための CCoE(Cloud Center of Excellence)運営支援、生成 AI アシスタントである Amazon Q などの AI 活用による運用最適化など、IT 基盤の移行にとどまらず、クラウド活用と組織変革の両面を支援します。

1. 安心・安全なクラウド移行を実現

電通総研は、基幹システムや大型仮想基盤のクラウド移行をはじめとし、エンタープライズ向けシステムのクラウド移行において多くの実績を有しています。それらの実績で培ったノウハウを生かし、QCD を満たした安心・安全なクラウド移行を実現します。

2. クラウド環境上での HPC 構築とインフラ環境の最適化を支援

製造業の HPC/CAE で求められる、高性能・高機密性・高コスト効率を実現するクラウド HPC/CAE 基盤開発や運用支援の実績を生かし、IT とものづくりの両面からクラウド基盤構築・運用を支援します。

3. 戦略立案から移行、運用に至るまで事業・人材・技術の 3 方向から内製化を支援

クラウド戦略の立案等の上流フェーズから準備、実装/移行、運用その後の最適化に至るまで、一気通貫で支援し、顧客内でのクラウド活用の内製化を推進します。

4. 基盤構築・運用の QCD 向上に向けた AI 利活用支援

Amazon Q, Amazon Bedrock といった生成 AI サービスを含む AWS の AI サービス・機能を活用し、基盤構築の QCD 改善、運用最適化など、顧客企業の内製化、AI 利活用推進を支援します。

■「AWS Summit Japan 2025」出展

6 月 25 日(水)、26 日(木)に開催される「AWS Summit Japan 2025」に出展します。

「AWS IT トランスフォーメーションパッケージ for MCP 電通総研版」についても紹介しますので、ぜひご参加ください。

イベント名 : AWS Summit Japan 2025
開催日時 : 2025 年 6 月 25 日(水)10:00 – 18:30
2025 年 6 月 26 日(木)10:00 – 17:00
会場 : 幕張メッセ & ライブ配信
出展ブース : 125B
お申込み : 事前に以下よりご来場登録の上、会場にお越しください。
[イベント登録および詳細 URL はこちらをご参照ください。](#)

電通総研は今後も AWS を活用したソリューションやサービスの拡充を図り、企業のクラウド活用を支援します。

※1 <https://aws.amazon.com/jp/architecture/well-architected/>

※2 システム開発の、品質(Quality)、コスト(Cost)、納期(Delivery)の3つを表す

<ご参考資料>

・「AWS IT トランスフォーメーションパッケージ」について

<https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/aws-itx2024-support-migration-modernization/>

企業がクラウドへの移行を成功させるための包括的な支援プログラムです。クラウド利用の経済的合理性や CO2 排出削減量の試算、クラウド利用準備状況のアセスメントを行う「評価フェーズ」、AWS に精通した人材育成のためのトレーニングや、移行手法、組織変革、カルチャーチェンジを進める体験型ワークショップを提供する「準備フェーズ」、クラウド移行におけるベストプラクティスを提供し、移行アーキテクチャや方式のレビュー支援を行う「移行&モダナイゼーションフェーズ」に分かれ、企業の AWS 活用を支援します。

・電通総研が提供するアマゾンウェブサービス(AWS)関連サービス

https://www.dentsusoken.com/solution/cloud_aws.html

電通総研では、2012 年に FISC に対応した金融機関向け AWS 対応セキュリティリファレンスの作成に参画するなど、早期から AWS を利用する取り組みを続けてきました。2010 年に AWS 社とパートナーシップを締結して以来、インフラ構築からシステム開発、パッケージ・サービス提供など、300 社を超えるお客様との取引実績を有しています。電通総研では AWS の最上位サポートであるプレミアサポートを利用可能であり、電通総研のもつ確かな実績と AWS の強力なパートナーシップをもってシステム提供します。

2025 年 6 月 12 日

[電通総研、「AWS 移行とモダナイゼーションコンピテンシー」認定を取得](#)

2024 年 12 月 16 日

[電通総研、「AWS スマートシティコンピテンシー」認定を取得](#)

■電通総研について <https://www.dentsusoken.com>

電通総研は、「HUMANOLOGY for the future～人とテクノロジーで、その先をつくる。～」という企業ビジョンの下、「システムインテグレーション」「コンサルティング」「シンクタンク」という3つの機能の連携により、企業・官庁・自治体や生活

者を含めた「社会」全体と真摯に向き合い、課題の提言からテクノロジーによる解決までの循環を生み出し、より良い社会への進化を支援・実装することを目指しています。

テクノロジーや業界、企業、地域の枠を超えた「X Innovation(クロスイノベーション)」を推進し、これからも人とテクノロジーの力で未来を切り拓き、新しい価値を創出し続けます。

- * 電通国際情報サービス (ISID) は、電通総研へ社名を変更しました。
- * 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社電通総研 クロスイノベーション本部 クラウドイノベーションセンター 小倉、菊田

E-Mail: g-cloud-alliance@group.dentsusoken.com

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通総研 コーポレートコミュニケーション部 野瀬

TEL: 03-6713-6100 E-Mail: g-pr@group.dentsusoken.com